

株式会社 平野屋物産



生産プロセス 空冷・水冷
ヒートポンプ

贈呈理由 > 新工場の建設にともない、空冷ヒートポンプシステムを導入し、プロセス冷却および工場空調において安定した性能と大幅な省エネを実現



工場外観

株式会社平野屋物産は、1957年の創業以来、一貫してパッケージ（食品・生活用品の軟包装資材）の製造、販売を行っている。

同社の製品であるパッケージは、時代の変化とともに高度かつ多様なニーズを受け、内容物を保護するという基本的な機能に加えて、消費者の利便性の向上、さらに商品の差別化を図り販売促進の一翼を担うためのツールとしての機能が求められている。平野屋物産は、「お客さまのニーズ・社会の要求に応えるパッケージを提供し、企業活動を通じて、社員のより豊かな生活・社会貢献を目指す。」という企業理念を掲げ、パッケージに求められる機能の実現に取り組んでいる。

2014年には、同社3番目の工場として鷹取工場（うきは市）を立ち上げ、既存工場の大型設備（グラビア印刷機・ラミネート機）を同工場内に新規設置し、稼働を開始した。パッケージを製

造する工場では、これら大型設備への冷却水の供給とともに、製品品質を一定に保つための安定した空調用冷温水供給が不可欠であるが、既存工場の熱源機器では、単機あたりのパワー不足から設置台数が多くなり、増設時に操作系統が煩雑になるなどの課題があった。

このため、新機種の検討に際しては、工場空調と工場内で使用する冷却水を、安定的に、より精度よくコントロールできる設備であるとともに、省エネルギーはもちろんのこと、省コスト・拡張性・管理の容易性などを十分考慮し、検討を重ねた結果、高効率な空冷ヒートポンプチラーの採用に至った。

パッケージ製造における冷温水供給熱源を高効率な空冷ヒートポンプチラーに置き換えたことにより、設置台数も少なく済んだとともに、将来増設しても、まとめてコントロールできるなど、今後の拡張時にも余裕を持って臨むことができるようになった。

株式会社平野屋物産は、今後もパッケージの製造販売を通じて、時代の要求にあったパッケージの進化を追求していく。



空冷ヒートポンプチラー

株式会社 平野屋物産 鷹取工場

所在地：福岡県うきは市吉井町鷹取1132-1
建築設計：梅野建築設計事務所
建築施工：(株)ビーエス三菱
延床面積：927.6㎡
竣工：2014年1月（新設）

■設備概要

空冷ヒートポンプチラー 475kW×5台：
190kW×2台：400kW×4台：200kW×2台
[東芝キャリア]